

臨床研究のお知らせ

研究課題名：

「愛知学院大学歯学部附属病院歯内治療科における実態調査：歯科用コーンビーム CT 検査」

1. 研究内容

歯科用コーンビーム CT を用いた撮影法は、新しい画像検査としてさまざまな分野で普及してきています。歯内療法領域でも、「通常の歯科用エックス線撮影若しくは歯科パノラマ断層撮影で確認できない位置関係や病巣の広がり等を確認する特段の必要性が認められる場合」に限り、歯科用 CT 検査の保険適応が可能となっています。

これまでに歯科用 CT 検査が、個々の症例で、診査や診断、および治療方針の決定に有効であったとの報告はありますが、歯内療法領域全般において実態調査に基づいて歯科用 CT 検査の結果を分析した報告はありません。

そこで、本研究では、歯内治療科で行われる今後の歯科用 CT 検査に関して、適用した症例の内訳や、得られた 3D 画像の診査、診断および治療方針の決定に対する有効性について、実態調査を行い、比較検討します。

2. 対象

2015 年（平成 27 年）4 月 1 日から 2015 年（平成 27 年）12 月 26 日までの期間中に、歯内治療科にて歯科用 CT 検査を受けられた患者さんが対象となります。

3. 研究の方法について

CBCT 検査で撮影した画像データを用い、症例の内訳や、得られた CT 画像の診査、診断および治療方針の決定に対する有効性について詳細な分析を行います。また、検査を行った歯科医師に対して、質問紙表によるアンケート調査を実施して、歯科用 CT 検査の現状を把握し、比較検討を行います。

協力していただいた方に、本研究の結果が、直接利益および不利益となるような情報をもたらす可能性は一切ありません。また、治療上においても不利益を被る事は一切ありません。

協力いただいて得られた研究の成果は、個人情報を厳重に保護したうえで、学会発表および学術雑誌などで公表することがあります。今後の歯科医学発展のために、ご理解の上ご協力をお願いします。

2015 年 11 月

問い合わせ先 愛知学院大学歯学部 歯内治療学講座
研究実施責任者 稲本京子
連絡先電話番号 052-759-2148